

地形図を基礎資料とした地域学習

社会科専修 川瀬久美子

1. 授業の概要

学校教育の社会科とくに地理分野においては、地理的事象を地図から読み取ったり地図で表現したりする能力の育成がなされている。本授業では地図の教材活用能力の向上を目的として、国土地理院発行の「地形図」をもとにした地域学習を演習形式で行った。受講生は修士課程1年生5名である。

授業の内容は以下の通りである。受講生の出身地や居住地など身近な地域の2万5千分の1地形図（「松山北部」「伊予川内」「新居浜」など）のうち毎回1図幅を全員が読図し、疑問点や関心を持ったことなどを、e-learningシステム moodle に記入する。報告担当者は、①地形図から読み取れる地理的特徴 ②図幅に示されている地域の概要 ③moodle に up された書き込みに対するコメント ④とくに注目するトピック をレジュメにまとめ、解説する。最後に教員から補足説明を行った。

2. アンケート結果

授業の最終回に無記名のアンケートを紙面で実施した。

【選択式】

選択肢は「かなり修得・向上できた」「ある程度修得・向上できた」「あまり修得・向上できなかった」「ほとんど修得・向上できなかった」の4つである。

1) 習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる。

かなり修得・向上できた：2名

ある程度修得・向上できた：3名

2) 広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる。

かなり修得・向上できた：3名

ある程度修得・向上できた：2名

3) 地域の課題を地球規模で考え、解決に向けて貢献できる。

かなり修得・向上できた：1名

ある程度修得・向上できた：4名

4) 地域の自然地理的・人文地理的特徴を地

形図から読み取ることができる。

かなり修得・向上できた：3名

ある程度修得・向上できた：2名

5) 地域社会の成り立ちや課題について、文献資料など過去の研究成果を参考にして、分析・説明できる。

かなり修得・向上できた：2名

ある程度修得・向上できた：1名

あまり修得・向上できなかった：1名

6) 地形図を社会科教育の教材として活用するときの手法や留意点を身につけている。

ある程度修得・向上できた：5名

【自由記述式】

・院の授業で一番面白いです。もっと多くあればいいと思います。

・地形図の見方・疑問点を自分で見つけるだけでなく、他の人のものと共有することができ、これまでにないような見方・視点を知ることができ、とても良かった。

・地図からたくさんの方が読み取れて、とてもおもしろかったです。また、じっくり見たいです。

・地形図をきちんと見たことが無かったので、他の人の見方なども参考になりました。院の授業の中で一番おもしろいと思いました。

・授業で学んだことを、実際に現地に見に行きたいと思いました。

3. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

地理教育では「身近な地域」や「生活圏」の学習や地域調査を行っている。本授業の内容は「地形図を基礎資料として地域社会について地理的分析や考察を行う」という受講生自身の研究能力を育成するとともに、「その力を教育現場の実践で活用できる」ことを狙ったものである。受講生は興味関心をもって意欲的に授業に取り組み、選択式の回答でもおおよそ高い評価を得ている。しかし、文献（市町村史）などから知識を得て読図結果と結びつけることには課題が残った。知識を有機的に関連させて地域について考察する力の育成を今後の課題としたい。